

平成 31 年度 当初予算の概要



鯖江市

目 次

1	予算規模	1
2	未来を担う子どもたちのための施策	4
	【財政規律の堅持】	
	(1) 財政調整基金残高、市債残高	
	(2) 一般会計の市債残高の推移	
	(3) 市債残高のうち実質的な負担額	
	(4) 実質公債費比率、将来負担比率	
3	歳入の確保	5
	(1) ふるさと納税制度の変遷と本市の取組み	
	(2) 本市のふるさと納税寄附金額の推移	
	(3) クラウドファンディング型ふるさと納税掲載予定事業	
4	市民生活向上・本市発展のための新しい取組み <新規事業>	6
5	歳出のポイント	8
	鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略	
	シティプロモーション推進事業	
	「持続可能な開発目標（SDGs）」推進に向けた取組み	
	提案型市民主役事業、ふくい嶺北連携中枢都市圏	
6	歳入のポイント	17
7	平成31年度鯖江市一般会計当初予算の状況	18
	歳 入	18
	歳 出（目的別）	22
	歳 出（性質別）	26
8	平成31年度鯖江市当初予算における基金現在高	31
9	平成31年度鯖江市当初予算における市債現在高	32

平成31年度当初予算のポイント

1 予算規模

〈一般会計の当初予算規模は過去最大〉

一般会計の予算規模は過去最大の **261 億 1,000 万円**（対前年度比 3.2 % 増）

鯖江市は市制施行以来、人口が増加し続けており、市民協働のまちづくりや学生などの若い人たちとの交流、さらには長い伝統に育まれた歴史や文化、自然など豊かな地域資源を活かしたまちづくりが全国から注目されています。

しかし、地方自治体を取り巻く環境は大変厳しく、本市においても少子高齢化に伴う社会保障費や教育費の増加、公共施設の更新・長寿命化など多額の財政需要が見込まれています。

今、地方自治体に求められているのは持続可能な安定した自治体経営であり、地域社会の構築です。

先人から伝わる素晴らしい地域資源やお互い様の市民性など本市の宝を未来につなぐことは大変重要な課題であり、国連が定めた「持続可能な開発目標（SDGs）」の理念にも共通するものです。

めがねのまちさばえを国内外に積極的に発信することで地域全体のブランド力が向上し、新たな価値を創造する原動力が生み出され、市民のふるさとへの誇りと自信が一層高まることが期待されています。

将来を担う子や孫に過大な負担を残さず、100年後もめがねのまちさばえが残るよう経常経費の削減や自主財源の確保に工夫するとともに、女性が輝くまち鯖江において、男性も子どもたちも高齢者も障害者も、みんなが安全で健康に笑顔で生活できる、持続可能なまちづくり予算としました。

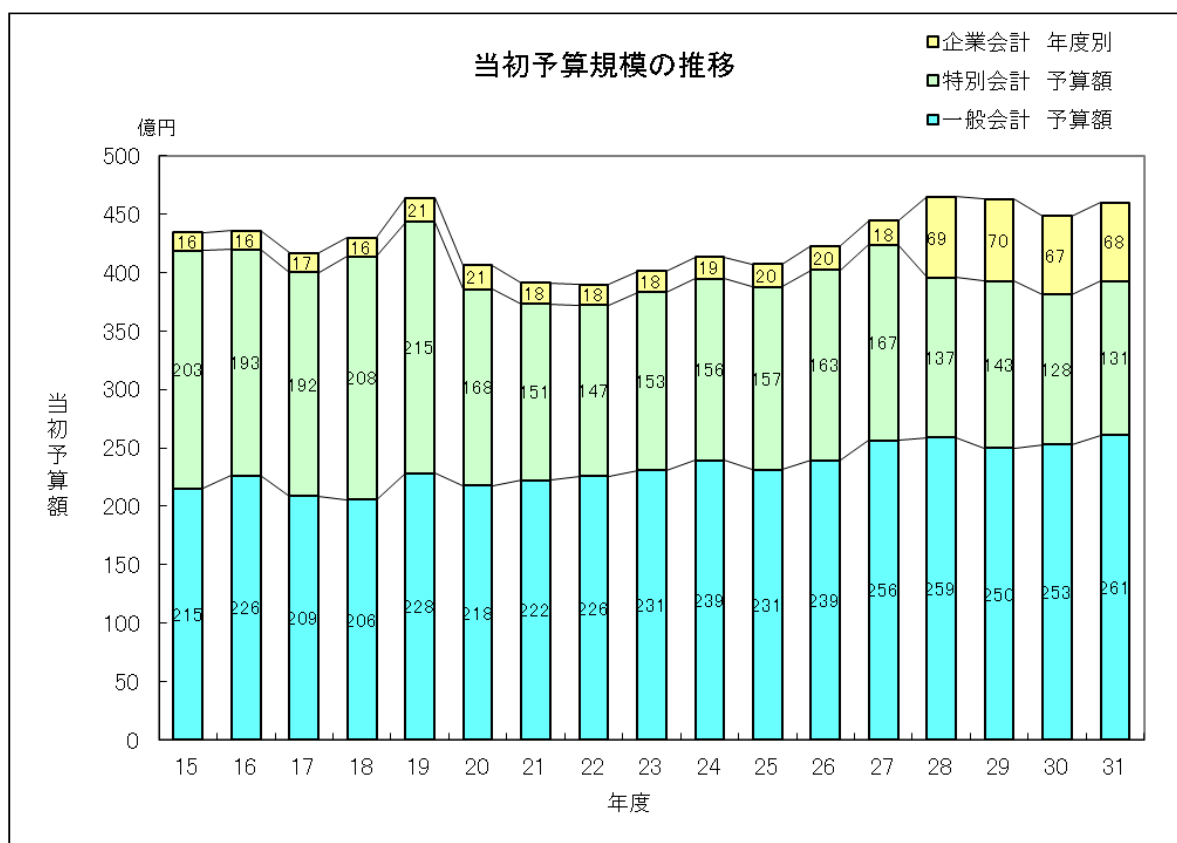
平成31年度当初予算キャッチフレーズ

『持続可能な めがねのまちさばえ』

（単位：千円・％）

会 計 名		平成31年度 ①	平成30年度 ②	増減額 ③(①－②)	増減率 ③/②
一 般 会 計		26,110,000	25,303,000	807,000	3.2
特別会計	国民健康保険事業特別会計	6,602,000	6,498,000	104,000	1.6
	後期高齢者医療特別会計	741,700	719,300	22,400	3.1
	介護保険事業特別会計	5,796,300	5,581,100	215,200	3.9
	総合開発事業特別会計	7,000	8,000	△ 1,000	△12.5
	小 計	13,147,000	12,806,400	340,600	2.7
企業会計	水道事業会計	2,011,900	2,037,000	△ 25,100	△ 1.2
	公共下水道事業会計	4,096,300	4,064,500	31,800	0.8
	農業集落排水事業会計	647,700	637,900	9,800	1.5
合 計		46,012,900	44,848,800	1,164,100	2.6

(1) 全会計の予算規模の推移（当初予算ベース）



(2) 一般会計の当初予算規模（平成31年度は過去最高）

1 番	平成31年度	261億1,000万円
2 番	平成28年度	259億1,000万円
3 番	平成27年度	256億3,600万円
4 番	平成30年度	253億 300万円
5 番	平成29年度	249億9,600万円

(3) 全会計の当初予算規模（平成31年度は過去4番目）

1 番	平成28年度	464億7,720万円
2 番	平成19年度	463億9,030万円
3 番	平成29年度	462億8,580万円
4 番	平成31年度	460億1,290万円
5 番	平成30年度	448億4,880万円

(4) 特別会計・企業会計の予算計上額

(単位：千円・%)

① 鯖江市国民健康保険事業特別会計

平成31年度	平成30年度	増減額	増減率
6,602,000	6,498,000	104,000	1.6

国民健康保険事業費納付金の増により、予算額が増加しました。

② 鯖江市後期高齢者医療特別会計

平成31年度	平成30年度	増減額	増減率
741,700	719,300	22,400	3.1

被保険者数の増により、予算額が増加しました。

③ 鯖江市介護保険事業特別会計

平成31年度	平成30年度	増減額	増減率
5,796,300	5,581,100	215,200	3.9

保険給付費の増により、予算額が増加しました。

④ 鯖江市総合開発事業特別会計

平成31年度	平成30年度	増減額	増減率
7,000	8,000	△ 1,000	△ 12.5

事務の効率化により、予算額が減少しました。

⑤ 鯖江市水道事業会計

平成31年度	平成30年度	増減額	増減率
2,011,900	2,037,000	△ 25,100	△ 1.2

建設改良費の減により、予算額が減少しました。

⑥ 鯖江市公共下水道事業会計

平成31年度	平成30年度	増減額	増減率
4,096,300	4,064,500	31,800	0.8

営業費用の増により、予算額が増加しました。

⑦ 鯖江市農業集落排水事業会計

平成31年度	平成30年度	増減額	増減率
647,700	637,900	9,800	1.5

営業費用の増により、予算額が増加しました。

2 未来を担う子どもたちのための施策

財政規律の堅持

＜未来を担う子どもたちに負担を残しません！＞

(1) 平成31年度当初予算ベースでの財政調整基金残高、市債残高の見込

○財政調整基金残高（平成31年度当初予算時の残高見込）31億8,320万円

＜まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標数値25億円以上を堅持！＞

平成27年11月策定の鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、平成31年度末の目標数値を25億円以上の確保としています。平成31年度末では31億8,320万円の確保が見込まれており、目標数値を達成する見込みです。今後は市税の減少や扶助費の増等により減少が予想されますが、堅実な財政運営を心がけ、緊急時の財源や将来への備えとし、未来を担う子どもたちに過大な負担を残しません。

○一般会計市債残高（平成31年度末残高見込）256億1,852万円

＜毎年確実に借金を減らしています！将来に過大な負担を残しません！＞

平成31年度末の市債残高見込は、鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標数値（臨時財政対策債を除いた市債残高150億円）を約10億円下回っています。普通債の発行額を抑制したことに加え、河和田コミュニティセンターや神明公民館の大規模改修工事の終了、市場公募債「元気さばえっ子・ゆめみらい債」の満期一括償還により、目標数値を大幅に下回りました。新規の起債発行額を起債元金償還額以下に抑制しているため、市債残高は毎年着実に減少しており、健全財政を維持しています。

（単位：百万円）

区分	平成31年度末 （残高見込）①	平成31年度末 （総合戦略）②	差引額 ①－②
市債残高	25,619		
うち臨時財政対策債	11,621		
うち普通債	13,998	15,000	△1,002

(2) 一般会計の市債残高の推移

（単位：億円）

年度	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13
年度末残高	170.0	229.2	250.7	267.7	305.6	314.0	311.3	307.2	301.1
年度	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
年度末残高	295.6	295.9	294.8	302.1	296.6	302.0	294.3	285.7	285.2
年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
年度末残高	279.5	269.3	266.7	265.7	265.6	262.8	258.9	262.6	256.2

*平成29年度までは決算額。30年度は繰越を含む決算見込。31年度は当初予算時

(3) 市債残高のうち実質的な負担額は約35%です。（65%は交付税措置されます。）

平成30年度末の市債残高見込額約262億6,500万円の内訳は、普通建設事業債等が約146億2,760万円、臨時財政対策債が約116億3,740万円です。臨時財政対策債は交付税の振替であるため後年度に100%普通交付税で措置されます。

また、普通建設事業債も、事業費補正により後年度に交付税措置があるいわゆる優良債を中心に借入を行っており、約38%が普通交付税で措置される見込みです。そのため、平成30年度末の市債残高見込額のうち市が自主財源で償還しなければならない実質的な負担額は、約90億円となります。事業費補正の見直し・廃止により、活用できる優良債は減少しつつありますが、今後も、更なる市債残高の減少と優良債の積極的な活用に努めます。

(4) 実質公債費比率、将来負担比率は良好な水準！＜今後も良好な水準を維持！＞

実質公債費比率、将来負担比率のいずれも極めて良好な水準を維持できる見込です。

特に、将来負担比率（地方公共団体の借入金等将来負担しなければならない負債等の、基金残高や財産、将来見込める歳入の額に対する比率）はマイナスとなっており、現在のところ財政指標が大きく悪化する要因はありません。

主な財政指標 (％)			
	平成28年度	平成29年度	平成30年度見込
実質公債費比率	10.1	9.0	9.0
将来負担比率	— (△0.8)	— (△16.4)	— (△17.0)

3 歳入の確保＜少子高齢化社会に対応するために新たな歳入確保に努めます！＞

(1) ふるさと納税制度の変遷と本市の取組み

ふるさと納税制度は、平成20年から始まりました。個人住民税の寄附金税制が拡充されたものであり、地方自治体に対する寄附のうち2,000円を超える部分について、個人住民税所得割額の概ね2割を上限とする金額が所得税と合わせて控除されます。

各自治体が工夫を凝らしつつふるさと納税の獲得に力を入れており、本市でもクレジットカード決済やポイント制の導入を行いました。

平成28年10月にはクラウドファンディング型ふるさと納税Webサイトを立ち上げるなど、全国初の取組みも積極的に導入しました。平成30年度は「ふるさとチョイス」の返礼品の大幅な見直し、「さとふる」「ANAふるさと納税」などのふるさと納税ポータルサイトの追加により、平成30年度のふるさと納税寄附金(平成31年1月31日現在)は、平成29年度総額に比べ約820万円増の約2億745万円となっています。

(2) 本市のふるさと納税寄附金額の推移

(単位：千円・件)

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
寄附金額	4,436	3,056	5,784	4,861	6,520	75,732	94,734	199,268	207,452
件数	46	30	42	58	130	894	950	3,584	4,489

* H30は、平成31年1月31日現在の金額・件数

(3) 平成31年度 クラウドファンディング型ふるさと納税掲載予定事業

担当部	掲載予定事業	事業費(千円)
総務部	鯖江市役所JK課	1,300
政策経営部	大人ファーストめがね	6,000
健康福祉部	ハーフバースデー事業	600
産業環境部	河和田アートキャンプ	1,100
都市整備部	西山公園イルミネーション等事業	2,600
教育委員会	ふるさと散歩道300回記念誌発行事業	1,815

4 市民生活向上・本市発展のための新しい取り組み<新規事業は62事業>

(1) 職員採用試験もノーマライゼーションと効率化を！

「職員採用試験Webテスト・点字試験」

職員採用試験に点字試験を導入して視覚障害者の参加制約を緩和するとともに、Webテストを活用することで採点の効率化を図ります。（主 p1 No. 4）

(2) みんなで目指そう賢い消費者！「消費者教育推進計画策定」

消費者が、必要な情報を自分で得て自主的・合理的に行動できるよう、年齢や社会的状況、経済的な状況など、その人に合った消費者教育を体系的に推進するため、「消費者教育推進計画」を策定します。（主 p1 No. 16）

(3) 災害情報などを確実に伝える！「やさしい日本語を活用した災害情報発信」

市内在住の外国人や外国人観光客に対して、災害に関する情報など、重要な情報を確実に伝えるため、わかりやすい日本語に変換して情報発信を行います。（主 p3 No. 49）

(4) 生活情報もすべての人に届ける！

「多言語ユニバーサル情報発信ツール「カタログポケット」導入事業」

音声読み上げやポップアップ、多言語化対応機能などを備えたアプリを導入し、高齢者や障がい者、外国人などに優しい情報発信を行います。（主 p3 No. 58）

(5) 都会の人、鯖江に住もう！「移住就職支援事業」

東京圏への過度な一極集中を是正し、地域の中小企業等の人手不足を解消するため、東京23区在住者・通勤者が県のマッチングサイトにより就職し、鯖江市に移住した場合に支援金を支給します。（主 p3 No. 65）

(6) デジタル領域でプロモーション！「めがねのまちさばえメディアサイト創設事業」

取り組み・企業・産品・人など、鯖江の魅力を総合的にプロモーションするため、情報集約点となるようなECサイトを構築するとともに、SNSを活用してデジタル領域での情報発信を行います。（主 p3 No. 66）

(7) 発信、鯖江モデルSDGs！「めがねのまちさばえSDGsプラットフォーム事業」

「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向け、啓発やPRを通して、SDGsについての認知度と市民理解、企業理解を深め、市民、市民団体、企業、学校などと連携し、一丸となって取り組む機運を高めます。（主 p4 No. 68）

(8) スキルや遊休資産をみんなでシェア！「シェアリングシティさばえ推進事業」

シェアリングエコノミーをSDGs達成に向けた一つの手段と捉え、本市の実情にあったシェアエコセミナーを開催し、市民の遊休資産やスキルのシェアに向けサービス登録支援や利用促進を図ります。（主 p4 No. 69）

(9) 計画的な公共施設の維持管理を推進！「個別施設計画策定」

市庁舎や学校をはじめとする建物施設と、道路・橋梁や下水道施設などのインフラ施設の個別施設計画を策定し、施設の維持管理に必要となる費用推計の精度を高め、今後の施設維持管理に活用します。（主 p4 No. 75 他）

(10) コンピュータの力で市役所業務を効率化！「RPAを用いた業務フロー適正化」

手作業で行っている自治体の定型的な業務を、内容や手順などの精査と見直しを行って効率化を図るとともに、パソコン上で動作するソフトウェアロボット（Robotic Process Automation）を導入し自動化を図り、生産性を高めます。（主 p4 No. 85）

(11) 就労に向けた応援をします！「就労準備支援事業」

様々な理由により就労に向けた準備が整っていない生活困窮者に対して、就労に必要な知識や能力を向上させるための訓練、他者との適切なコミュニケーションなど、計画的かつ一貫した就労支援を行います。（主 p5 No. 91）

(12) 重度障害者も大学に通えるように！「重度障害者大学修学支援事業」

大学が必要な支援体制を構築できるまでの間、重度の障害者が修学するために必要な身体介護等を提供することで、障害者の社会参加を促進します。（主 p5 No. 95）

(13) 若手保育士のスキルアップをお手伝い！「保育指導者巡回事業」

若手保育士の資質向上と不安解消のため、市保育士ＯＢが市内保育所を巡回し、保育現場において必要なスキルを身につけるための指導やアドバイスを行います。（主 p6 No. 124）

(14) 将来はさばえの保育士に！「保育士修学資金貸付金」

保育士の資格を取得し、将来市内の保育所等で働こうとする若者に対して修学資金の貸付を行い、市内保育所で保育士業務に５年間従事した場合は修学資金の返還を全額免除とすることで、保育士不足の解消につなげます。（主 p6 No. 135）

(15) 女性がいつまでも輝き活躍するために！「輝く女性のヘルスケア事業」

女性が職場や地域で元気に活躍できるよう、レディース健診や健康診査にあわせて、女性輝き健診デー「健診プラス６」、出産・育児の応援事業、輝く女性ヘルスケアセミナー、健康カフェ等を開催します。（主 p8 No. 165）

(16) 目指せ次世代リーダー！「シティセールスマン育成事業」

地域課題の解決を通して地域に貢献し、そのプロセスで次世代リーダーを育成することを目的とした企業研修の場に、若手市職員も一緒に参加することで、業務における課題を見つける力や課題を解決するプロセスを学び、自ら考え動く人材を育成します。（主 p9 No. 195）

(17) 女性の働く環境を改善！「女性が働きやすい環境づくり応援事業」

妊娠・出産・子育てのライフステージに関わらず女性が働き続けやすい環境を整備する市内事業者に対して、その整備に必要な費用の一部を補助します。（主 p10 No. 209）

(18) 地球にやさしく！「L I M E Xを使用した家庭ごみの分け方・出し方ポスター作成」

不要になった際に紙やプラスチックの代替製品にできる新素材「L I M E X（ライメックス）」を用いて家庭ごみの分け方・出し方ポスターを作成し、再利用することで、環境負荷の低い地域モデルを構築します。（主 p12 No. 261）

(19) さばえの文化を世界に発信！「I COM KYOTO 出展」

2019年に日本で初めて開催されるI COM KYOTO（国際博物館会議京都大会）において、鯖江藩やクリヨウジの作品などを紹介する展示ブースの設置や、人形浄瑠璃のパフォーマンスを行い、市の魅力を国際規模で発信します。（主 p18 No. 398）

(20) 目指せアスリート！「西日本ジュニア体操競技選手権大会開催」

鯖江市総合体育館で9年ぶりに開催される小中学生の体操競技選手権大会の開催運営を支援することで、福井しあわせ元気国体の流れを生かしつつ、ジュニア層の競技力向上と体操競技の振興につなげます。（主 p19 No. 419）

5 歳出のポイント

鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略

鯖江市は「みんなでつくろう、みんなのさばえ」を合言葉に、「鯖江ブランドの創造」・「人の増えるまちづくり」を重点施策として、「鯖江から国を変える」という高い志をもって、全国に先駆けたまちづくりに取り組んでいます。「鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の最終年度である平成31年度も、「若者が住みたくなる・住み続けたくなるまち」の実現に向けて、4つの基本目標「魅力ある雇用の創出」「若者が住みたくなるまちの創造」「若くて元気なまちの創造」「安心で快適に暮らせるまちの創造」のもと、予算配分を行いました。

《主な事業》

基本目標Ⅰ 魅力ある雇用の創出

鯖江市は、眼鏡・繊維・漆器の三大地場産業を中心としたものづくりのまちとして発展してきました。地場産業に蓄積された高度な技術を最大限に活用して、成長分野への進出や農業の6次産業化、IT企業の積極的誘致など、地域産業の活性化の動きを加速させるとともに、ものづくりを支える女性の活躍にも焦点を当て、魅力ある雇用の場を創出します。

【継続】鯖江の頑張るリーダー企業応援事業

18,000千円

先見性のあるものづくり事業、それを支えるひとづくり事業、市場開拓事業や海外有力小売店と連携した商品開発、テスト販売にチャレンジする企業等を支援します。

【新規】シェアリングシティさばえ推進事業

963千円

シェアリングエコノミーをSDGs達成に向けた一つの手段と捉え、本市の実情にあったシェアエコセミナーを開催し、市民の遊休資産やスキルのシェアに向けサービス登録支援や利用促進を図ります。

【継続】Webを活用した集客・販促実践事業

500千円

Webを活用して時代に即した集客・販促を行うため、事例紹介や有効な活用方法を習得するための支援を行います。

【継続】サテライトオフィス誘致事業

2,500千円

都市部企業のサテライトオフィス誘致を目指し、セミナーや視察研修、企業訪問等を行います。

【継続】女性が輝くまち鯖江世界発信事業

3,000千円

鯖江の魅力のひとつである女性の活躍を記録した映像番組を制作し、国連本部へSDGs推進レポートとして紹介するとともに、SDGsイメージカラー等を使用したメガネを作成し、県内外にSDGs推進を図ります。

【継続】育児介護休業代替社員応援事業

755千円

従業員が育児・介護により短時間勤務制度等を利用した場合や、育児休業を取得した場合に、その代替として市民を雇用した事業主に対し助成します。

【継続】地域営農再生推進事業

36,695千円

経営安定対策の円滑な実施に向けて、転作作物等の生産者を支援することで、地産地消の推進、食料自給率、農地の有効利用の向上等を図ります。

【継続】新規就農者経営支援事業

1,500千円

持続可能な農業に必要な技術の習得や経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対して奨励金を交付し、経営の安定化と就農後の定着を図ります。

基本目標Ⅱ 若者が住みたくなるまちの創造

鯖江市は、若者や女性を市政のパートナーとして、柔軟で豊かな発想や想像力を市政に生かしてきました。鯖江のものづくりの魅力と可能性に惹かれて移住・定住した若者たちのチャレンジを応援するとともに、鯖江で生まれ育った子どもたちがふるさとに愛着と誇りを感じる教育を推進し、すべての市民が主体的にまちづくりに参加できる「市民主役」「市民協働」の取組みを加速させます。

【継続・提案】若者による地域活性化推進事業

1,350千円

全国の学生が市内の高校生の夢を叶えるプランを考えプレゼンテーションする地域活性化プランコンテストを開催するとともに、市内高校生のアイデアを大人と一緒に具現化します。

【継続】アジア建築学生国際サマースタディオ支援事業

800千円

アジア各国の大学で建築を学ぶ学生が鯖江でのワークショップに参加し、地域性に根ざした新しい建築のデザイン・制作活動を行うための費用の一部を助成します。

【新規】移住就職支援事業

5,000千円

東京圏への過度な一極集中の是正と地域の中小企業等における人手不足の解消を目的として、東京23区在住・通勤者が県のマッチングサイトにより就職し、鯖江市に移住した場合に支援金を支給します。

【新規】多言語ユニバーサル情報発信ツール「カタログポケット」導入事業

540千円

音声読み上げやポップアップ、多言語化対応機能などを備えたアプリを導入し、高齢者や障がい者、外国人などに優しい情報発信を行います。

【継続】図書館マップオープンデータ化事業

66千円

図書館マップ「配架図」をオープンデータ化し、スマートフォンなどのアプリと連携することで、利用者が探している本の書棚を特定しやすくします。

【継続】河和田アートキャンプ活動支援事業

1,100千円

河和田地区の豊かな地域資源を活用したアートの事業を展開し、河和田の活性化を図ります。

【継続】キッズカンパニー事業

500千円

地域子どもたちに起業体験プログラムを実施し、将来的な起業家を育成します。

【継続】産業を体験し理解を深める学習事業

1,639千円

小学校の児童が、鯖江市の三大地場産業である眼鏡・繊維・漆器について学習・体験し、理解を深めます。

【新規】地域活動まち美化応援交付金（融和と協働のまちづくり事業交付金）

1,500千円

各地区のまちづくり応援団によるまちづくり活動およびまち美化活動に対し交付金を交付します。

【継続】鯖江市役所JK課事業

1,300千円

女子高生がまちづくりの主役となって、自らが企画し、大人を巻き込みながら具現化するJK課プロジェクトを実施します。

【継続】街なか賑わいづくり振興事業

6,692千円

空き店舗対策など、中心市街地や周辺商業を活性化させる取組みを支援します。

基本目標Ⅲ 若くて元気なまちの創造

鯖江市は近年まで人口増加傾向にあるものの、将来的には人口、特に若い女性の数が減少する見込みであるため、子育て家庭の経済的な負担や不安感を軽減し、安心して子どもを産み育てることのできる環境づくりに取組みます。また、心身ともにバランスの取れた健全な子どもの育成や、高齢者が生涯健康で生きがいを持って暮らす環境づくりをし、子どもから高齢者まですべての市民が笑顔のあふれるまちを創造します。

【継続】妊婦・乳幼児健診事業

71,162千円

妊婦および乳幼児の健康診査を行い、異常の早期発見、早期治療の方向づけと育児不安の軽減を図ります。

【継続】医療的ケア児支援対策事業

2,157千円

医療的ケアを必要とする未就学の障害児がいる保育所に対し、訪問看護師を派遣します。

【新規】保育体制強化事業費補助金

14,040千円

私立保育園における保育士の業務負担を軽減し、保育士の離職防止を図るため、保育士免許の必要がない周辺業務を担当する者の配置費用の一部を補助します。

【新規】保育士修学資金貸付金

1,800千円

保育士の資格を取得し、将来市内保育所等において保育士の業務に従事しようとする者に修学資金を貸付し、5年間市内保育所等に勤務した場合は修学資金の返還を全額免除します。

【継続】食育学習推進事業

2,640千円

「食」への知識・理解を深めるための学習や体験活動などの食教育を実施し、子どもの健やかな心と体づくりを目指します。

【継続】放課後子ども教室推進事業

7,158千円

子どもたちが放課後や休日に安全・安心で健やかに過ごせる居場所をつくるため、地域住民の参画を得て、子どもとともに勉強やスポーツ等の取組を実施します。

【新規】2019西日本ジュニア体操競技選手権大会開催事業

2,000千円

鯖江市総合体育館で開催される小中学生の体操競技選手権大会を支援することで、ジュニア層の競技力向上と体操競技の振興を図ります。

【継続】いきがい講座事業

4,340千円

健康で生きがいのある生活を送り、長寿を喜べる社会づくりのため、高齢者の学習活動への支援として各種講座を開催します。

【継続】地域密着型サービス施設整備等事業補助金

209,600千円

地域密着型サービス施設を整備しようとする事業者に対して、整備に要する費用の一部を補助することで、サービス利用者等の福祉の向上と施設整備の促進を図ります。

【新規】家計改善支援事業

359千円

家計に問題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、必要な情報提供や専門的な助言・指導等を行います。

【新規】就労準備支援事業

3,600千円

様々な理由により就労に向けた準備が整っていない生活困窮者に対して、計画的かつ一貫した就労支援を行います。

基本目標Ⅳ 安心で快適に暮らせるまちの創造

基本目標に掲げた事項の好循環を生み出すためには、市民にとって暮らしやすく、住み続けたいと思える魅力的な居住空間・生活空間が欠かせません。住民や訪れた方誰もが楽しく快適に歩くことができるまちなか形成、伝統産業や自然・文化等を活用した活気あるまちづくり、市民と協働で自然環境や公共空間の管理を推進し、住みやすい良好な生活環境を整えます。

【継続】コミュニティバス運行事業 96,200千円

鯖江市地域公共交通再編実施計画に基づき、つつじバスを運行します。

【継続・提案】こども防災チャレンジ親子講座と小中学校防災出前講座 464千円

子どもを対象とした防災学習としての親子参加型の講座や、小中学校に対する防災出前講座（防育）を通じて、災害時に生き抜くことができる知識を深め、地域防災力の向上を図ります。

【新規】やさしい日本語を活用した災害情報発信環境整備事業 100千円

市内在住の外国人や外国人観光客に対して災害に関する情報を確実に伝えるため、わかりやすい日本語に変換して情報発信を行います。

【新規】公民館避難所対応時テレビ設置工事 700千円

災害時に、避難所が開設された公民館に避難してきた方が情報を得るため、各公民館にテレビを設置します。

【新規】消費者教育推進計画策定事業 597千円

消費者が必要な情報を得て、自主的・合理的に行動できるよう、生涯にわたりその人に応じた消費者教育を推進するため、消費者教育推進計画を策定します。

【継続】運転免許自主返納促進事業 400千円

高齢者が加害者となる交通事故を減少させるため、高齢者の運転免許証自主返納を促します。

【新規】公共施設等総合管理計画（個別施設計画策定） 128,437千円

市庁舎や学校をはじめとする建物施設と、道路・橋梁や下水道施設などのインフラ施設の個別施設計画を策定し、施設の維持管理に必要となる費用推計の精度を高め、今後の施設維持管理に活用します。

【継続】住宅・建築物耐震改修等促進事業 4,410千円

木造住宅の耐震診断費用および耐震改修費用の支援をすることで、耐震改修を促進するとともに、民間建築物の吹き付けアスベストの調査費を支援します。

【継続】空き家再生等推進事業 11,000千円

空き家再生、定住人口の増加、都市部からの企業進出や交流人口の増加を図ることを目的として、市内空き家を有効利活用するための改修費用の一部を補助します。

【継続】ごみ収集委託事業 211,000千円

可燃ごみ、不燃ごみ、資源物等収集を業務委託し、市内の環境美化を保持します。

【継続】不法投棄防止対策事業 580千円

不法投棄監視カメラの設置、ごみのポイ捨てやペットのふん放置禁止看板の設置を行い、町内会が自主的に取り組む地域活動を支援し、地域の環境美化と清潔保持を図ります。

シティプロモーション推進事業

眼鏡産業をはじめとする豊かな地域資源に更なる磨きをかけ、「めがねのまちさばえ」の地域イメージ向上と、新たな経営資源の獲得、市民がふるさとさばえを再認識することを目的として、「シティプロモーション推進事業」に取り組んでいます。

【新規】多言語ユニバーサル情報発信ツール「カタログポケット」導入事業

540千円

音声読み上げやポップアップ、多言語化対応機能などを備えたアプリを導入し、高齢者や障がい者、外国人などに優しい情報発信を行います。

【継続】めがねのまちさばえ感謝祭開催事業

6,000千円

「吹奏楽フェスティバル」と「めがねフェス」を同時開催し、相乗効果を図るとともに、めがねのまちさばえを広く発信します。

【継続】眼育・メイク・Make

200千円

めがねのまちさばえ感謝祭の会場内に、目の健康やものづくり、メイクに関する展示・体験コーナーを設置します。

【継続】眼育（めいく）SABAE

1,479千円

「眼育プロジェクト」に基づき、目の健康づくりに取り組みます。特に、目の大切さを認識してもらうことと、幼少期の検査体制を強化し、弱視などを早期に発見することで、子どもたちの将来を守る取組みを推進します。

【継続】大人ファーストさばえ記念事業

6,000千円

新成人が鯖江の良さを再認識するきっかけとして、成人式で記念品を贈呈します。

【新規】めがねのまちさばえメディアサイト創設事業

5,000千円

取り組み・企業・産品・人など、鯖江の魅力を総合的にプロモーションし発信するため、情報集約点となるようなウェブサイトを構築します。

【継続】めがねのまちさばえ応援事業

300千円

めがねのまちさばえブランド大使や応援企業がめがねのまちさばえを応援・PRするための活動の費用を支援します。

【継続】めがねのまちさばえ大使「仮面女子」とのコラボレーション事業

7,000千円

めがねのまちさばえ大使に任命した「仮面女子」とコラボレーションし、効果的なプロモーション活動を行います。

【新規】保育士修学資金貸付金

1,800千円

保育士の資格を取得し、将来市内保育所等において保育士の業務に従事しようとする者に修学資金を貸付し、5年間市内保育所等に勤務した場合は修学資金の返還を全額免除します。

【継続】鯖江“育職住”プロジェクト

2,498千円

ウェブサイト「さばえの仕事図鑑」により市内企業の魅力を発信するとともに、都市部在住の若者を募集し、鯖江の働きやすさや住み良さを実感するためのツアーを開催します。

【新規】シティセールスマン育成事業

197千円

地域課題の解決を通して地域に貢献し、そのプロセスで次世代リーダーを育成することを目的に、企業と市職員の研修の場を設けます。

【継続】学生と大学を繋ぐ鯖江ブランド発信事業**854千円**

連携協定を締結した各大学における鯖江ブランドの認知度向上のため、ホームカミングデー等にあわせて市のPRを行うとともに、学生等との交流を行い、今後の施策づくりのきっかけとします。

【継続】近松が生まれ育ったまち発信事業**1,920千円**

「近松が生まれ育ったまちさばえ」を全国にPRし、市の知名度向上を図るとともに、ふるさとの歴史に愛着と誇りを養います。

【新規】I COM KYOTO出展事業**828千円**

2019年に日本で初めて開催されるI COM KYOTO（国際博物館会議京都大会）において、鯖江藩やクリヨウジの作品などを紹介し、市の魅力を発信します。

【新規】ふるさと散歩道300回記念誌発行事業**1,815千円**

広報さばえに掲載している「ふるさと散歩道」が300回を迎えるにあたり、記念誌を作成してふるさとさばえに対する愛着と誇りを養います。

「持続可能な開発目標（SDGs）」推進に向けた取り組み

「持続可能な開発目標（SDGs（Sustainable Development Goals））」は、地球に住むすべての人が暮らしやすい社会を将来に引き継いでいくため、2030年までに様々な課題に取り組もうと2015年の国連総会で採択された世界共通の目標です。

鯖江市も“誰も置き去りにしない”という理念に賛同し、総合戦略を着実に推進するとともに、鯖江市の地域特性を活かした女性活躍、健康福祉、経済成長、環境、教育の分野に、地域をあげて積極的に取り組んでいきます。

●SDGsの普及啓発**【新規】めがねのまちさばえSDGsプラットフォーム事業****3,700千円**

SDGsの達成に向け、啓発やPRを通して、SDGsについての認知度と市民理解、企業理解を深め、市民、市民団体、企業、学校などと連携し、一丸となって取り組む機運を高めます。

【新規】シェアリングシティさばえ推進事業**963千円**

シェアリングエコノミーをSDGs達成に向けた一つの手段と捉え、本市の実情にあったシェアエコセミナーを開催し、市民の遊休資産やスキルのシェアに向けサービス登録支援や利用促進を図ります。

**●女性が輝くまち鯖江の推進****【継続】女性が輝くまち鯖江世界発信事業****3,000千円**

鯖江の魅力のひとつである女性の活躍を記録した映像番組を制作し、国連本部へSDGs推進レポートとして紹介するとともに、SDGsイメージカラー等を使用したメガネを作成し、県内外にSDGs推進を図ります。

【継続】第5次鯖江市男女共同参画プラン策定事業 ～女性が輝くまち鯖江～ 980千円
女性の活躍と人権を推進する第5次男女共同参画プランを作成し、女性活躍推進社会および男女共同参画社会の実現を目指します。

【継続・提案】選べるワークスタイル推進事業 540千円
あらゆる人々が自分の能力を発揮し、希望に合った働き方を選択できるように取組めます。

【新規】輝く女性のヘルスケア事業 1,492千円
女性が職場や地域で元気に活躍できるよう、女性輝き健診デー「健診プラス6」、出産・育児の応援事業、輝く女性ヘルスケアセミナー、健康カフェ等を開催します。

【新規】女性が働きやすい環境づくり応援事業 2,000千円
女性が働き続けやすくするための環境整備に取り組む市内事業者に対し、整備に必要な費用の一部を支援します。



●健康福祉のまちづくりの推進

【継続】いきがい講座事業 4,340千円
健康で生きがいのある生活を送り、長寿を喜べる社会づくりのため、高齢者の学習活動への支援として各種講座を開催します。

【継続】食の自立支援事業 4,299千円
ひとり暮らしの高齢者への配食サービスを行うことで、健康保持と健康状態を確認し、ひとり暮らし高齢者の生活を支援します。

【新規】ひとり親家庭の子育て安心プラン事業 4,200千円
ひとり親家庭の経済的負担を軽減するために、高等学校等に在学している生徒の通学のための公共交通機関の定期券購入費用の一部を助成します。

【継続】新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業 2,367千円
クーポン券の配布、受診勧奨および精密検査の受診再勧奨を行い、子宮頸がん・乳がん検診の受診率の向上を図ります。



●ものづくりのまちの経済成長の推進

【継続】成長分野販路開拓支援事業 15,000千円
成長分野への参入を目指す企業が取り組む国内外の見本市出展等に支援することで、販路開拓を促します。

【継続】越前ものづくりの里プロジェクト事業 12,119千円
丹南地域の伝統工芸の各産地が連携して職人の育成や産地の魅力向上に取り組み、知名度向上と需要拡大を図ります。

【継続】サテライトオフィス誘致事業 2,500千円
都市部企業のサテライトオフィス誘致を目指し、セミナーや視察研修、企業訪問等を行います。

【継続】「めがねのまち鯖江」元気再生事業**30,000千円**

眼鏡、繊維、漆器産業を中心とする域内産業の元気再生を目的に、産学官金が一体となって取り組む事業を支援します。

【継続】ブランド化総合支援事業**600千円**

鯖江産特産物(吉川ナス、さばえ菜花米、さばえ夢てまり、山うに、川島ごぼうなど)のブランド化を行うため、意欲ある市内の農業者団体等を総合的に支援します。

●環境にやさしいまちづくりの推進**【継続】さばえエコ農業支援対策事業****6,770千円**

化学肥料・農薬等の削減等、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者を支援します。

【新規】COOLCHOICE&SDGs普及啓発事業**5,000千円**

環境イベントや講演会において、COOLCHOICE(クールチョイス)やSDGs、エシカル消費などの普及啓発に取り組みます。

【新規】LIMEXを使用した家庭ごみの分け方・出し方ポスター作成事業 578千円

不要になった際に紙やプラスチックの代替製品にできる新素材LIMEX(ライメックス)を用いて、家庭ごみの分け方・出し方ポスターを作成し、環境負荷の低い地域モデルを構築します。

●鯖江モデル教育の推進**【継続】こどもエコクラブ活動支援事業****520千円**

市内小学生の自発的な環境活動を支援し、環境に対する意識のさらなる向上や環境保全活動の推進を図ります。

【継続】産業を体験し理解を深める学習事業**1,639千円**

小学校の児童が、鯖江市の三大地場産業である眼鏡・繊維・漆器について学習・体験し、理解を深めます。

【新規】SDGs教育推進事業**200千円**

中学校の生徒を対象に、SDGsに関連している学習と連動させた講演会や活動を行うことで、SDGsの理念を学習し、身近なところから考えるきっかけづくりをします。

【継続】英語に親しむ活動事業**17,084千円**

国際理解教育の一環として外国人講師の英会話による授業を実施し、英語に親しむ活動を推進します。

【継続・提案】クリエイティブ教育都市事業**700千円**

IT社会を支えていく子どもたちにプログラミングなどの技術を習得してもらうため、全小中学校でプログラミングクラブを開催します。

【継続】地域と進める体験推進事業(小中学校)**2,600千円**

小中学校の児童生徒が自らの地域課題等を改善する体験学習を実施することにより、ふさとさばえへの誇りや愛着を高めます。

提案型市民主役事業

市民主役のまちづくりに向けた取組みの一環として、提案型市民主役事業化制度により市の97事業を対象に選定、市民主役事業として提案を募集し、37団体から52事業の提案がありました。審査会の結果、49事業を36団体に対して委託し、25,082千円を予算化しました。

民間企業経営者に学ぶ組織リーダー養成研修	165千円
多文化共生推進事業	181千円
ワーク・ライフ・バランス推進事業	350千円
鯖江市防災リーダー養成講座	315千円
ITに親しむ講座開催事業	1,000千円
子育てサポーター養成講座	330千円
若者による地域活性化推進事業	1,350千円
地産地消推進「さばえの味再発見」事業	450千円
西山公園松堂庵呈茶もてなし事業	380千円
光でつなぐ家族の絆（家族ふれあい事業）	753千円

ふくい嶺北連携中枢都市圏

連携中枢都市圏構想は、人口減少・少子高齢社会にあっても、住民が安心して快適な暮らしを継続するため、地域の中心都市が近隣の市町村と連携し、コンパクト化とネットワーク化により活力ある社会経済を維持するための拠点を形成することを目的としています。

福井市は、平成31年4月の中核市移行と同時に連携中枢都市圏の形成を目指しており、嶺北10市町と形成する連携中枢都市圏の名称は「ふくい嶺北連携中枢都市圏」と決まりました。

今後、都市圏の目指す姿や連携して取組む具体的な事業などを記した「ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョン」を策定し、さまざまな分野において11市町が連携して事業に取り組みます。

鯖江市に関する具体的取組み

病院群輪番制病院運営	1,043千円
病児保育環境整備	8,601千円
保育所等広域入所	74,000千円
防災担当職員人材育成	100千円
移住促進・首都圏等情報発信強化	33千円

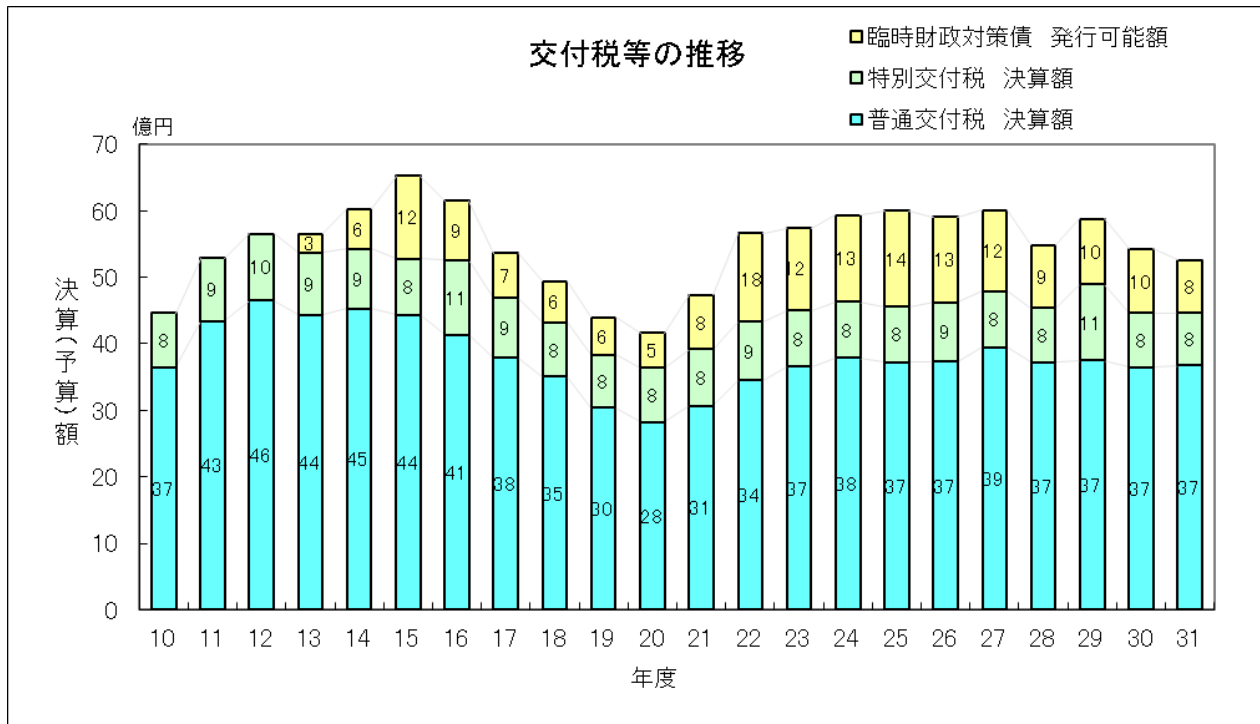
6 歳入のポイント

○市税収入 93億2,700万円 (2億9,700万円増、3.3%)

雇用や所得環境が改善していることから、個人市民税や法人市民税の増加を見込み、対前年度当初予算比2億9,700万円増の93億2,700万円を見込みました。

○地方交付税 44億6,000万円 (前年度同額)

- ・普通交付税 36億8,000万円 *平成30年度決算見込みおよび平成31年度地財計画を考慮し、36億8,000万円(対前年度当初予算比 3,000万円増)を見込みました。
- ・特別交付税 7億8,000万円 *国体分の減少等を見込み、7億8,000万円(対前年度当初予算比 3,000万円減)を見込みました
- *臨時財政対策債(8億円)を加えた実質的な交付税は52億6,000万円(対前年度当初予算比 1億6,500万円減)となりました。



*平成30年度および平成31年度は当初予算計上額

○市 債 23億5,030万円 (6,030万円増、2.6%)

市債の当初予算計上額の比較

(単位: 千円、%)

区 分	平成31年度	平成30年度	増減額	伸率
市 債	2,350,300	2,290,000	60,300	2.6
普通建設事業債	1,550,300	1,325,000	225,300	17.0
臨時財政対策債	800,000	965,000	△165,000	△17.1

7 平成31年度 鯖江市一般会計当初予算の状況

一般会計歳入の状況

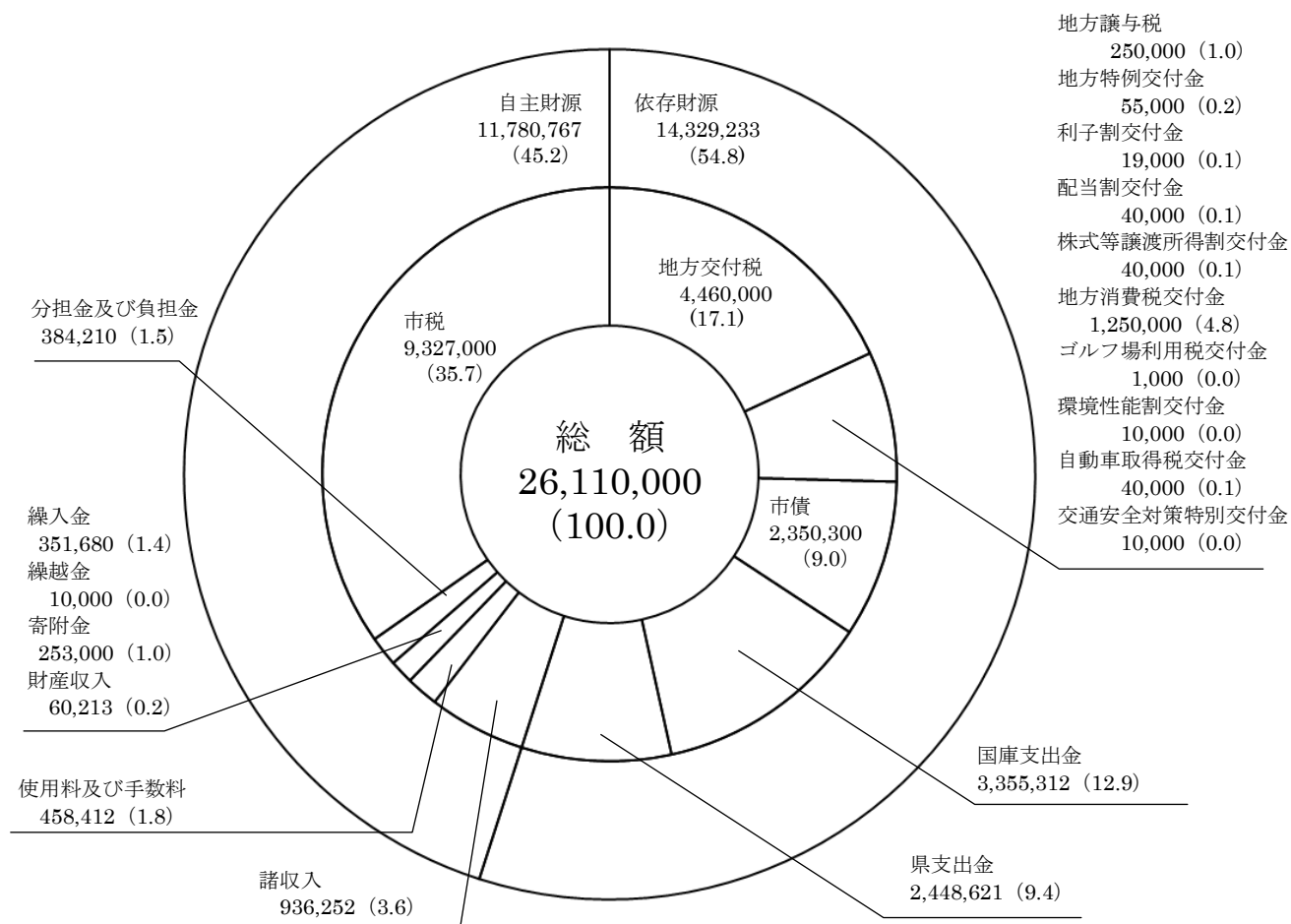
(1) 歳入の内訳

(単位：千円・%)

区 分	平成31年度		平成30年度		増減額	増減率
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比		
市 税	9,327,000	35.7	9,030,000	35.7	297,000	3.3
地 方 譲 与 税	250,000	1.0	255,000	1.0	△5,000	△2.0
利 子 割 交 付 金	19,000	0.1	16,000	0.1	3,000	18.8
配 当 割 交 付 金	40,000	0.1	33,000	0.1	7,000	21.2
株式等譲渡所得割交付金	40,000	0.1	50,000	0.2	△10,000	△20.0
地方消費税交付金	1,250,000	4.8	1,100,000	4.3	150,000	13.6
ゴルフ場利用税交付金	1,000	0.0	1,000	0.0	0	0.0
環境性能割交付金	10,000	0.0	0	0.0	10,000	皆増
自動車取得税交付金	40,000	0.1	84,000	0.3	△44,000	△52.4
地方特例交付金	55,000	0.2	55,000	0.2	0	0.0
地 方 交 付 税	4,460,000	17.1	4,460,000	17.7	0	0.0
交通安全対策特別交付金	10,000	0.0	10,000	0.0	0	0.0
分 担 金 及 び 負 担 金	384,210	1.5	370,562	1.5	13,648	3.7
使用料及び手数料	458,412	1.8	462,564	1.8	△4,152	△0.9
国 庫 支 出 金	3,355,312	12.9	3,077,003	12.2	278,309	9.0
県 支 出 金	2,448,621	9.4	2,256,111	8.9	192,510	8.5
財 産 収 入	60,213	0.2	59,892	0.2	321	0.5
寄 附 金	253,000	1.0	252,300	1.0	700	0.3
繰 入 金	351,680	1.4	301,680	1.2	50,000	16.6
繰 越 金	10,000	0.0	10,000	0.0	0	0.0
諸 収 入	936,252	3.6	1,128,888	4.5	△192,636	△17.1
市 債	2,350,300	9.0	2,290,000	9.1	60,300	2.6
合 計	26,110,000	100.0	25,303,000	100.0	807,000	3.2

(2) 歳入予算款別構成表(一般会計)

(単位：千円・%)



(3) 歳入の概要

自主財源は、市税および繰入金の増加により、前年度当初予算と比較して1億6,488万円、1.4%の増となり、自主財源が歳入に占める割合は45.2%となりました。

※自主財源：市税、分担金・負担金、使用料・手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入で、市が自主的に徴収できる財源をいいます。

(単位：千円・%)

区分	平成31年度 (A)		平成30年度 (B)		比較 (A) - (B)	伸率
	当初予算額	全歳入 構成比	当初予算額	全歳入 構成比		
1 市 税	9,327,000	35.7	9,030,000	35.7	297,000	3.3
2 繰入金	351,680	1.4	301,680	1.2	50,000	16.6
3 諸収入	936,252	3.6	1,128,888	4.5	△192,636	△17.1
4 その他	1,165,835	4.5	1,155,318	4.5	10,517	0.9
自主財源計	11,780,767	45.2	11,615,886	45.9	164,881	1.4

(4) 市 税

個人市民税については、雇用や所得環境が改善していることから、前年度当初予算と比較して2.7%の増で計上しました。

法人市民税については、市内企業の業績が好調であることから、前年度当初予算と比較して13.7%の増で計上しました。

(単位：千円・%)

区分		平成31年度	平成30年度	増減額	増減率
個人市民税	現年課税分	3,472,000	3,379,000	93,000	2.8
	滞納繰越分	46,000	47,000	△1,000	△2.1
	計	3,518,000	3,426,000	92,000	2.7
法人市民税	現年課税分	743,000	653,000	90,000	13.8
	滞納繰越分	1,000	1,500	△500	△33.3
	計	744,000	654,500	89,500	13.7
固定資産税	土地(現年課税分)	1,280,000	1,288,000	△8,000	△0.6
	家屋(現年課税分)	1,912,000	1,838,000	74,000	4.0
	償却資産(現年課税分)	600,000	580,000	20,000	3.4
	その他(現年課税分)	10,000	10,000	0	0.0
	滞納繰越分	86,000	87,500	△1,500	△1.7
計		3,888,000	3,803,500	84,500	2.2
軽自動車税、市たばこ税、入湯税、都市計画税		1,177,000	1,146,000	31,000	2.7
合計		9,327,000	9,030,000	297,000	3.3

(5) 地方交付税

普通交付税は前年度と比較して3,000万円の増、特別交付税は3,000万円の減と見込みました。

(単位：千円・%)

区分	平成31年度	平成30年度	増減額	増減率
普通交付税	3,680,000	3,650,000	30,000	0.8
特別交付税	780,000	810,000	△30,000	△3.7
合計	4,460,000	4,460,000	0	0.0

(6) 国庫支出金

国庫支出金は、社会資本整備総合交付金の増等により、前年度当初予算と比較して9.0%の増で計上しました。

(単位：千円・%)

平成31年度	平成30年度	増減額	増減率
3,355,312	3,077,003	278,309	9.0

【主な増減内訳】

- ・社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）103,320千円→235,000千円（131,680千円）
- ・社会資本整備総合交付金 182,195千円→284,770千円（102,575千円）
- ・児童手当負担金 879,666千円→865,950千円（△13,716千円）
- ・保育所等整備交付金 53,180千円→0千円（△53,180千円）

(7) 県支出金

県支出金は、介護施設等整備事業費補助金、周遊滞在型観光推進事業費補助金の皆増等により、前年度当初予算と比較して8.5%の増で計上しました。

(単位：千円・%)

平成31年度	平成30年度	増減額	増減率
2,448,621	2,256,111	192,510	8.5

【主な増減内訳】

- ・介護施設等整備事業費補助金 0千円→219,600千円（219,600千円）
- ・周遊滞在型観光推進事業費補助金 0千円→48,795千円（48,795千円）
- ・参議院議員選挙委託金 0千円→20,000千円（20,000千円）
- ・公共施設等利活用プロジェクト事業費補助金 27,333千円→0千円（△27,333千円）
- ・福井しあわせ元気国体開催補助金 120,000千円→0千円（△120,000千円）

(8) 繰入金

繰入金は、元気さばえっ子・ゆめみらい償還のための減債基金繰入金の増により、前年度当初予算と比較して16.6%の増で計上しました。

(単位：千円・%)

平成31年度	平成30年度	増減額	増減率
351,680	301,680	50,000	16.6

【主な増減内訳】

- ・減債基金繰入金 200,000千円→350,000千円（150,000千円）
- ・教育振興基金繰入金 100,000千円→0千円（△100,000千円）

(9) 市債

普通建設事業債は平成26年度および平成28年度発行の元気さばえっ子・ゆめみらい債の借換債分3億5,000万円も含み15億5,030万円を計上しました。臨時財政対策債は8億円を計上しました。

(単位：千円・%)

平成31年度	平成30年度	増減額	増減率
2,350,300	2,290,000	60,300	2.6

- ・普通建設事業債 1,325,000千円→1,550,300千円（225,300千円）
- ・臨時財政対策債 965,000千円→800,000千円（△165,000千円）

一般会計歳出(目的別)の状況

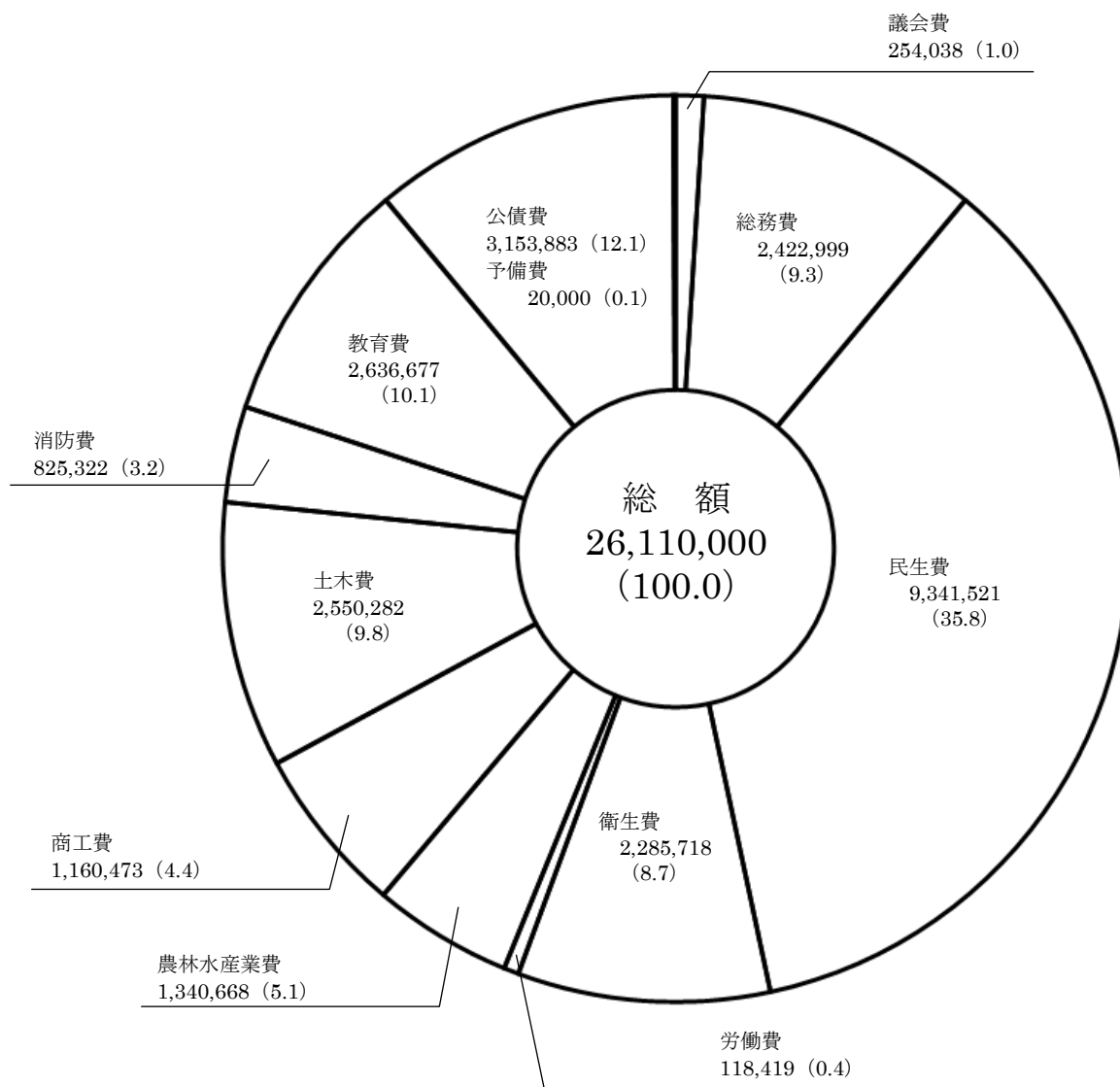
(1) 目的別内訳

(単位：千円・%)

区 分	平成 3 1 年度		平成 3 0 年度		増減額	増減率
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比		
議 会 費	254,038	1.0	248,113	1.0	5,925	2.4
総 務 費	2,422,999	9.3	2,551,593	10.1	△128,594	△5.0
民 生 費	9,341,521	35.8	8,917,836	35.2	423,685	4.8
衛 生 費	2,285,718	8.7	2,185,202	8.6	100,516	4.6
労 働 費	118,419	0.4	140,851	0.5	△22,432	△15.9
農 林 水 産 業 費	1,340,668	5.1	1,084,502	4.3	256,166	23.6
商 工 費	1,160,473	4.4	1,232,067	4.9	△71,594	△5.8
土 木 費	2,550,282	9.8	2,408,075	9.5	142,207	5.9
消 防 費	825,322	3.2	880,287	3.5	△54,965	△6.2
教 育 費	2,636,677	10.1	2,650,601	10.5	△13,924	△0.5
公 債 費	3,153,883	12.1	2,983,873	11.8	170,010	5.7
予 備 費	20,000	0.1	20,000	0.1	0	0.0
合 計	26,110,000	100.0	25,303,000	100.0	807,000	3.2

(2) 歳出予算目的別構成表(一般会計)

(単位：千円・%)



(3) 目的別の概要

一般会計の歳出の内訳を目的別にみると、地域密着型サービス施設整備等事業費補助金の増等により民生費が、農林業体験実習館等施設整備費の増等により農林水産業費がそれぞれ増加しました。

一方、コミュニティセンター施設整備費の皆減等により総務費が、消防組合負担金の減等により消防費が、労働者生活安定資金等預託金の減等により労働費がそれぞれ減少しました。

(4) 目的別の状況

① 議会費

・議員報酬 169,428 千円→ 168,643 千円 (△785 千円)

② 総務費

・都市再生整備計画事業費 (夢みらい館・さばえ)

2,400 千円→ 63,107 千円 (60,707 千円)

・退職手当費 277,436 千円→ 115,888 千円 (△161,548 千円)

・コミュニティセンター施設整備費 168,000 千円→ 0 千円 (△168,000 千円)

③ 民生費

・地域密着型サービス施設整備等事業費補助金

0 千円→ 209,600 千円 (209,600 千円)

・プレミアム付商品券事業費 0 千円→ 20,264 千円 (20,264 千円)

・児童手当 1,260,000 千円→1,241,000 千円 (△ 19,000 千円)

・小規模保育事業所整備費補助金 59,828 千円→ 0 千円 (△ 59,828 千円)

④ 衛生費

・広域衛生施設組合負担金 491,773 千円→ 609,186 千円 (117,413 千円)

・予防接種費 161,261 千円→ 174,428 千円 (13,167 千円)

・がん検診事業費 71,566 千円→ 54,324 千円 (△ 17,242 千円)

・合併処理浄化槽設置費補助金 55,999 千円→ 34,970 千円 (△ 21,029 千円)

⑤ 労働費

・労働者生活安定資金等預託金 84,800 千円→ 65,841 千円 (△ 18,959 千円)

⑥ 農林水産業費

・農林業体験実習館等施設整備費 8,000 千円→ 180,000 千円 (172,000 千円)

・県営事業負担金 74,075 千円→ 132,692 千円 (58,617 千円)

・土地改良事業費 (県補助) 179,897 千円→ 182,905 千円 (3,008 千円)

・土地改良事業費 (単独) 19,400 千円→ 15,200 千円 (△ 4,200 千円)

⑦ 商工費

・工場立地助成金 39,537 千円→ 96,095 千円 (56,558 千円)

・地方の元気再生事業費 24,000 千円→ 30,000 千円 (6,000 千円)

・おもてなし商業エリア創出事業費 19,291 千円→ 0 千円 (△ 19,291 千円)

・中小企業資金等預託金 660,089 千円→ 564,957 千円 (△ 95,132 千円)

⑧ 土木費

・社会資本整備総合交付金事業費	267,750 千円→	378,000 千円 (110,250 千円)
・北陸新幹線対策事業費	36,200 千円→	58,383 千円 (22,183 千円)
・市営住宅ストック総合改善事業費	27,000 千円→	40,000 千円 (13,000 千円)
・道路維持補修費	120,761 千円→	93,050 千円 (△ 27,711 千円)

⑨ 消防費

・消防組合負担金	875,026 千円→	820,000 千円 (△ 55,026 千円)
----------	-------------	--------------------------

⑩ 教育費

・都市再生整備計画事業費（文化センター）	22,400 千円→	480,000 千円 (457,600 千円)
・教育振興諸経費（小学校）	50,581 千円→	65,438 千円 (14,857 千円)
・都市再生整備計画事業（神明公民館）	165,500 千円→	0 千円 (△165,500 千円)
・福井しあわせ元気国体・大会推進諸経費	285,000 千円→	0 千円 (△285,000 千円)

⑪ 公債費

・市債定時償還元金	2,804,324 千円→	2,996,983 千円 (192,659 千円)
・市債定時償還利子	176,099 千円→	153,129 千円 (△ 22,970 千円)

一般会計歳出(性質別)の状況

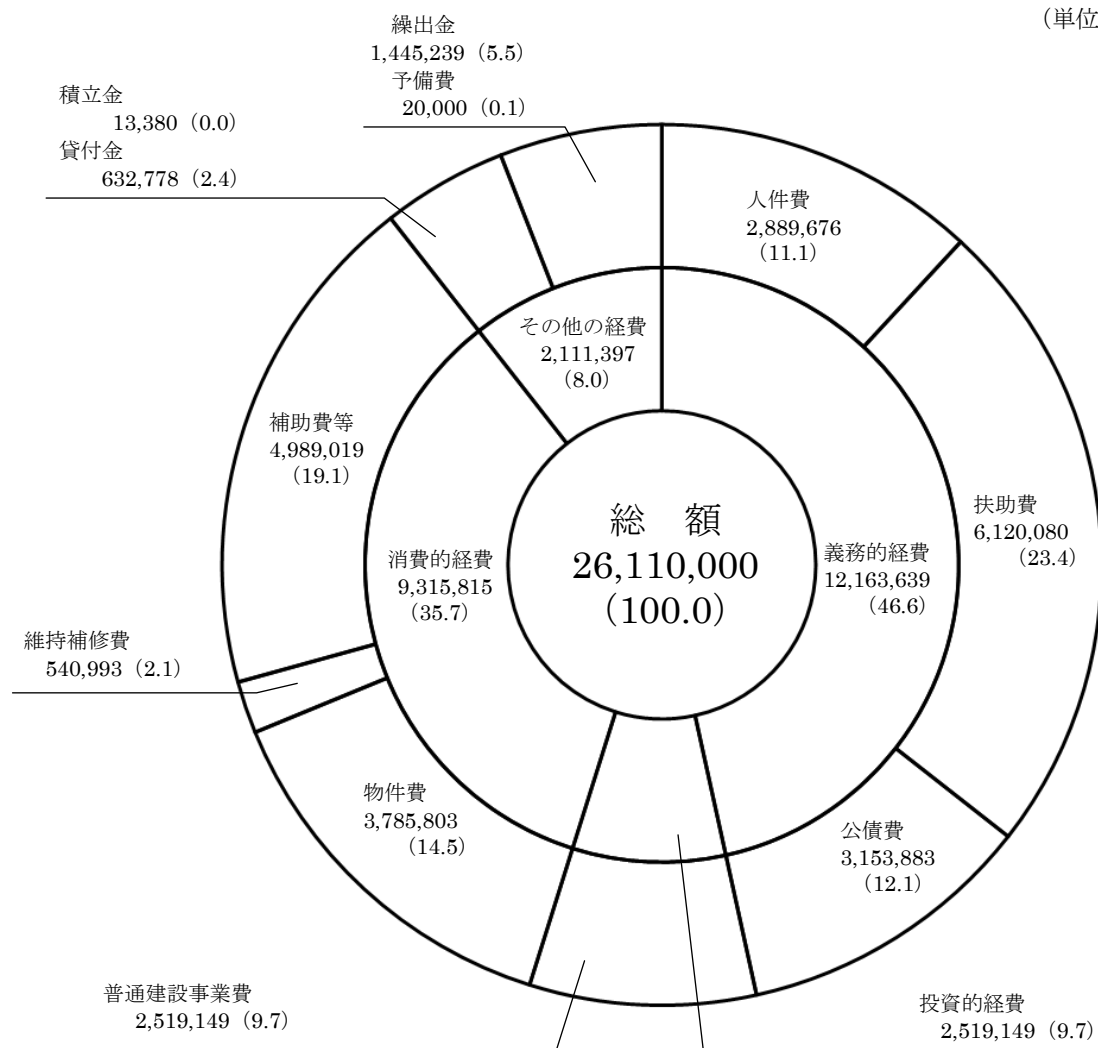
(1) 性質別内訳

(単位：千円・%)

区 分	平成 3 1 年度		平成 3 0 年度		増減額	増減率
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比		
人 件 費	2,889,676	11.1	2,980,748	11.8	△91,072	△3.1
物 件 費	3,785,803	14.5	3,669,335	14.5	116,468	3.2
維 持 補 修 費	540,993	2.1	497,537	2.0	43,456	8.7
扶 助 費	6,120,080	23.4	6,029,421	23.8	90,659	1.5
補 助 費 等	4,989,019	19.1	5,086,665	20.1	△97,646	△1.9
うち一部事務組合 負担金	2,612,689	10.0	2,557,279	10.1	55,410	2.2
公 債 費	3,153,883	12.1	2,983,873	11.8	170,010	5.7
普 通 建 設 事 業 費	2,519,149	9.7	1,867,147	7.4	652,002	34.9
補 助 事 業	1,502,697	5.8	819,499	3.2	683,198	83.4
単 独 事 業	700,204	2.7	786,543	3.1	△86,339	△11.0
県 営 事 業 負 担 金	224,845	0.9	169,702	0.7	55,143	32.5
国直轄事業負担金	91,403	0.3	91,403	0.4	0	0.0
積 立 金	13,380	0.0	13,380	0.0	0	0.0
貸 付 金	632,778	2.4	745,069	2.9	△112,291	△15.1
繰 出 金	1,445,239	5.5	1,409,825	5.6	35,414	2.5
予 備 費	20,000	0.1	20,000	0.1	0	0.0
合 計	26,110,000	100.0	25,303,000	100.0	807,000	3.2

(2) 歳出予算性質別構成表(一般会計)

(単位：千円・%)



(3) 性質別の概要

一般会計の歳出の内訳を性質別にみると、義務的経費では元気さばえっ子・ゆめみらい債満期一括償還による公債費の増等により、前年度当初予算と比較して1億6,960万円、1.4%の増となりました。

投資的経費は、都市再生整備計画事業の増等により、前年度と比較して6億5,200万円、34.9%の増となりました。

その他の経費では、補助費等の減等により1,460万円、0.1%の減となりました。

(4) 性質別の状況

(単位：千円・%)

区 分	平成31年度 (A)		平成30年度 (B)		比 較 (A)-(B)	伸 率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
1 人 件 費	2,889,676	11.1	2,980,748	11.8	△91,072	△3.1
2 扶 助 費	6,120,080	23.4	6,029,421	23.8	90,659	1.5
3 公 債 費	3,153,883	12.1	2,983,873	11.8	170,010	5.7
義務的経費計	12,163,639	46.6	11,994,042	47.4	169,597	1.4
投 資 的 経 費 (普通建設事業費等)	2,519,149	9.7	1,867,147	7.4	652,002	34.9
そ の 他 の 経 費 (物件費等)	11,427,212	43.7	11,441,811	45.2	△14,599	△0.1
合 計	26,110,000	100.0	25,303,000	100.0	807,000	3.2

① 人件費

(単位：千円・%)

区 分	平成31年度	平成30年度	増減額	増減率
人 件 費 (一般会計)	2,889,676	2,980,748	△91,072	△3.1
人 件 費 (全会計)	2,962,135	3,066,542	△104,407	△3.4
うち退職手当 (退職見込数)	115,888 (6人)	277,436 (12人)	△161,548 (△6人)	△58.2
退職手当を除 いた人件費	2,846,247	2,789,106	57,141	2.0

*特別職、再任用職員を含む

〔職員数〕

区 分	平成31年度	平成30年度	増減数
一 般 会 計	369人	361人	8人
特 別 会 計	23人	23人	0人
企 業 会 計	15人	15人	0人
合 計	407人	399人	8人

* 特別職、再任用職員を含む

② 扶助費

小規模保育事業所であるのぞみ保育園の認可保育園化による私立保育所運営事業費の増、助成対象者数の増による医療費助成事業費の増等により、対前年度比 9,066 万円、1.5%増で計上しました。

(単位：千円・%)

平成 31 年度	平成 30 年度	増減額	増減率
6,120,080	6,029,421	90,659	1.5

③ 公債費

平成 26 年度元気さばえっ子・ゆめみらい債（発行総額 6 億円）および平成 28 年度元気さばえっ子・ゆめみらい債（発行総額 5 億円のうち法人向け（3 年満期一括償還）1 億円）の満期一括償還等により、対前年度比 1 億 7,001 万円、5.7%増で計上しました。

(単位：千円・%)

平成 31 年度	平成 30 年度	増減額	増減率
3,153,883	2,983,873	170,010	5.7

- ・市債定時償還元金 2,804,324 千円 → 2,996,983 千円 (192,659 千円)
- ・市債定時償還利子 176,099 千円 → 153,129 千円 (△ 22,970 千円)

④ 普通建設事業費

都市再生整備計画事業（文化センター耐震改修工事、夢みらい館・さばえ耐震改修工事）の増等により、対前年度比 6 億 5,200 万円、34.9%増で計上しました。

(単位：千円・%)

平成 31 年度	平成 30 年度	増減額	増減率
2,519,149	1,867,147	652,002	34.9

〔主な増減要因〕

【補助事業】

(単位：千円)

事業名	平成 31 年度	平成 30 年度	増減額
都市再生整備計画事業費（文化センター）	480,000	22,400	457,600
地域密着型サービス施設整備等事業費補助金	209,600	0	209,600
都市再生整備計画事業費（夢みらい館・さばえ）	63,107	2,400	60,707
合併処理浄化槽設置費補助金	34,970	55,999	△ 21,029
都市再生整備計画事業費（神明公民館）	0	165,500	△ 165,500

【単独事業】

(単位：千円)

事業名	平成 31 年度	平成 30 年度	増減額
農林業体験実習館等施設整備費	180,000	8,000	172,000
嚮陽会館施設整備費	0	17,000	△ 17,000
コミュニティセンター施設整備費	0	168,000	△ 168,000

⑤ 物件費

選挙事務諸経費の増等により、対前年度比 1 億 1,647 万円、3.2%増で計上しました。

(単位：千円・%)

平成 31 年度	平成 30 年度	増減額	増減率
3,785,803	3,669,335	116,468	3.2

⑥ 維持補修費

庁舎施設等維持補修費、多機能型健康福祉施設維持補修費の増等により、対前年度比4,346万円、8.7%増で計上しました。

(単位：千円・%)

平成31年度	平成30年度	増減額	増減率
540,993	497,537	43,456	8.7

⑦ 補助費等

福井しあわせ元気国体・大会推進諸経費の減等により、対前年度比9,765万円、1.9%減で計上しました。

(単位：千円・%)

平成31年度	平成30年度	増減額	増減率
4,989,019	5,086,665	△97,646	△1.9

〔主な負担金〕

(単位：千円)

事業名	平成31年度	平成30年度	増減額
消防組合負担金	820,000	875,026	△55,026
広域衛生施設組合負担金	609,186	491,773	117,413
公立丹南病院組合負担金	291,449	298,461	△7,012
福井県丹南広域組合負担金	218,934	237,816	△18,882

⑧ 繰出金

介護保険事業特別会計、国民健康保険事業特別会計への繰出金の増により、対前年度比3,541万円、2.5%増で計上しました。

(単位：千円・%)

平成31年度	平成30年度	増減額	増減率
1,445,239	1,409,825	35,414	2.5

〔主な繰出金〕

(単位：千円)

会計名	平成31年度	平成30年度	増減額
介護保険事業特別会計介護給付費繰出金	668,160	639,580	28,580
国民健康保険事業特別会計保険基盤安定繰出金	300,832	300,234	598
国民健康保険事業特別会計財政安定化支援事業繰出金	17,562	15,000	2,562

⑨ 積立金

前年度同額で計上しました。

(単位：千円・%)

平成31年度	平成30年度	増減額	増減率
13,380	13,380	0	0.0

- ・財政調整基金積立金 8,000千円 → 8,000千円 (0千円)
- ・減債基金積立金 1,500千円 → 1,500千円 (0千円)

8 平成31年度鯖江市当初予算における基金現在高

(単位：千円)

基金名		平成29年度末 現在高	平成30年度中移動		平成30年度末 見込額	平成31年度中移動		平成31年度末 見込額
			積立額	取崩額		積立額	取崩額	
一般会計	財政調整基金	3,017,200	158,000		3,175,200	8,000		3,183,200
	減債基金	973,600	1,500	200,000	775,100	1,500	350,000	426,600
	温泉施設 整備基金	90,000			90,000			90,000
	市民協働まち づくり基金	1,500	1,680	1,680	1,500	1,680	1,680	1,500
	福祉基金	292,010	12,500		304,510	1,500		306,010
	ふるさと水と土 保全対策基金	11,040	50		11,090	50		11,140
	公園整備等基金	326,650	50		326,700	50		326,750
	教育振興基金	178,400	8,000	77,000	109,400	600		110,000
計		4,890,400	181,780	278,680	4,793,500	13,380	351,680	4,455,200
特別会計	国民健康 保険基金	67,200	240,000		307,200	10	145,000	162,210
	介護保険基金	407,510	350	17,000	390,860	350	55,000	336,210
計		474,710	240,350	17,000	698,060	360	200,000	498,420
合 計		5,365,110	422,130	295,680	5,491,560	13,740	551,680	4,953,620

9 平成31年度鯖江市当初予算における市債現在高

(単位：千円)

区 分	平成29年度末 現 在 高	平成30年度末 現在高見込額	平成31年度中増減見込額 (当初予算ベース)			平成31年度末 現在高見込額
			借 入 見込額	元金償還 見 込 額	繰上償還 見 込 額	
一般会計	25,893,423	26,265,199	2,350,300	2,996,983		25,618,516
うち普通債	14,454,885	14,627,801	1,550,300	2,180,545		13,997,556
うち臨財債	11,438,538	11,637,398	800,000	816,438		11,620,960
企業会計	26,715,459	25,683,914	903,200	1,966,023		24,621,091
水道事業	3,238,029	3,243,057	195,000	171,480		3,266,577
公共下水道	21,097,680	20,249,542	676,200	1,576,610		19,349,132
農業集落	2,379,750	2,191,315	32,000	217,933		2,005,382
合 計	52,608,882	51,949,113	3,253,500	4,963,006		50,239,607